

宮崎ロータリークラブ週報

no.40 | 発行 | 2023年5月16日 | 担当 | 長友 岳夫・赤石 裕一郎



2022-2023 Theme



■ 前回の例会記録

第3379回 2023年5月9日(火)

【ゲスト卓話】

宮崎県立看護大学教授 大館 真晴 様

* 誕生日祝・結婚記念日祝(親睦委員会)

出席状況報告

会員数(名誉会員3名を除く)	98名
例会出席会員数	71名
同上出席率	73.20%

■ 今回の例会予定

第3380回 2023年5月16日(火)

【ゲスト卓話】

NPO法人ひむかおひさまネットワーク
代表 下津 義博 様

■ 次回の例会予定

第3381回 2023年5月23日(火)

【インターアクト】

宮崎学園高等学校 学校長 押方 修 様
” 教諭 伊東 望 様
” インターアクト(生徒4名)

■ 幹事報告

- ・週報、ポスティング
- ・2023年5月のロータリーレート 1ドル=136円
- ・本日は、例会終了後、月初めの理事会を開催いたします。理事・役員の方は、例会終了後、前方役員席にお集まりください。

■ 新会員入会式



第一生命保険株式会社
須藤 裕之 会員



朝日生命保険相互会社
水井 孝昭 会員

結婚記念日祝



誕生日祝



■ ビジター会員



ローターアクトクラブ
谷次 一研 会員

■ 米山奨学金交付



■ 会長の時間



チャットGPT

川崎 建作 会長

皆さんこんにちは。みなさん毎年1月に、アメリカの調査会社の「ユーラシアグループ」により「今年の10大リスク」というのが発表されているのをご存じでしょうか。今年も「2023年の10大リスク」が発表されましたが、その1位と2位については、多くの方の賛同を得ていると思われます。その10大リスクの1位は「ならず者国家ロシア」。2位が「権力が最大化された習近平国家主席」、ということです。ですから、この1位と2位については多くの方がなるほどとご賛同いただけると思います。ところが、10大リスクの第3位というのが「テクノロジーの進歩による社会混乱」というものでした、これはどういうことかということ AI= 人工知能の技術的進歩は社会の信頼を損ない、ビジネスや市場を混乱させるというものです。私は先日、自宅のPCを開いてみると、

Microsoft Bing の新しい AI 搭載のチャットモードの無料お試しの案内が来ておりました。一度試してみようと思い、「ロータリークラブ」と「入会25年」という2つの言葉使って何か文章を作ってもらうことにしました。それで、10秒程度待っても作ってもらったのが以下の文章です。

「私は、25年前にロータリークラブに入会しました。それ以来、私はロータリークラブの理念と活動に深く感銘を受けています。私は、自分の職業やスキルを生かして地域社会や世界の問題に貢献することができると思っています。私は、様々な職業や背景を持つ仲間たちと交流し、互いに刺激しあい、学びあうことができると感謝しています。私は、ロータリークラブが持続可能な変化を生むために人々が手を取り合って行動する世界を目指していると誇りに思っています。」

私はこれからもロータリークラブの一員として、超我の奉仕の精神で活動し続けたいと思っています。私は、ロータリークラブが私に与えてくれた機会や経験に感謝し、最も良く奉仕する者、最も多く報いられるという標語を胸に刻みたいと思っています。」

以上が、「ロータリークラブ」と「入会25年」というたった2つの言葉を入力しただけで AI が作りあげた文章です。昨今、利用が急速に広がっている「ChatGPT」は、まるで人間が書いたような自然の文章を作成でき、レポートや論文なども簡単に作成できてしまうことから、教育現場や社会生活に影響が及ぶと考えられております。これが、「今年の10大リスクの第3位」です。これで会長の時間を終わらせていただきます。ご清聴ありがとうございました。



■ ゲスト卓話



古(いにしえ)から学ぶ ～稽古照今～

宮崎県立看護大学教授
大館 真晴 様

一、はじめに

『古事記』は和銅5年(712年)に成った、現存最古の歴史書である。この『古事記』の序文には以下のような一文がある。

古を稽へて(稽古)風猷を既に頼へたるに繩
したまひ、今を照らして(照今)典教を絶え
むと欲るに補ひたまはずということ莫し。

【訳】

古のことを学んで、すでに衰えてしまった風教道徳を正し、そのことで今を照らして、現在、絶えようとしている道と教を補わないということはない。(『古事記』上巻・序文)

先の一文は、後に「稽古照今」という四字熟語となり、後世に広く知られることとなる。「稽古(けいこ)とは、「古」のことを考えるの意で、「踊りの稽古」・「お茶の稽古」など、現在でもよく用いられる言葉である。そして、「照今(しょうこん)とは、文字通り、「今に照らす」という意になる。つまり、「稽古照今」とは、「古を学び、そのことを、現在を生きる我々に活かして行く」という意になる。

この「古」を学ぶことの重要性を述べた言葉が、現存最古の歴史書である『古事記』に由来するというのは誠に興味深いものである。本稿では、

「稽古照今」という言葉を手がかりに、古から現在に続く宮崎の特質について述べてみたい。

二、古代日向の物語～諸県君泉媛～

『日本書紀』巻七・景行天皇十八年三月条の記述によると、景行天皇が夷守(現在の小林市)にて岩瀬川を眺めると、人々が大勢集まっており、それは、諸県君泉媛が景行天皇に「大御食(食事)を献上せんと集っていたのだと記されている。ここで登場する、「諸県君泉媛」については、「諸県君」が「諸県地方の首長」をあらわすとされ、「泉媛」は、諸県地方の水資源の豊かさを象徴するものとされている。確かに現在の諸県地方も、霧島裂罅水や「出の山湧水」など水資源の豊かな土地である。この豊かな水資源は現在でも、「宮崎キャビア1983」の誕生に寄与し、日本一の焼酎生産に恩恵を与えているといつてよい。

三、古代日向の「山(陸)の幸」・「海の幸」

日向久湯評の人 漆部佐俣支、治奉牛卅
(『飛鳥藤原京木簡』2-1497)

上記は奈良県橿原市にある藤原京跡から出土した木簡の一文である(木簡:墨で文字などが記された木片のこと、行政文書、荷札など様々な種類がある)。藤原京は持統天皇・文武天皇・元明天皇が都とした地で、このことから先の木簡が684年から710年の間に記された可能性が高いものと推測できる。

注目すべきは、「日向久湯評」(現在の児湯郡)



の人、漆部佐俣支(うるしべのさひき)が、牛30頭を朝廷に献上したという記載内容である。このことは、牛30頭を献上するほどの生産力が当時の日向国にあったことを示すものである。さらに、『続日本紀』(平安初期に編纂された歴史書)によると、文武天皇4年(700年)の記事には、「諸国をして牧地を定め、牛馬を放たしむ」(諸国に牧場を定め、牛馬を放牧した)とある。問題は日向国に関する記述であるが、『延喜式』(平安中期における行政上の施行細則を記したもの)において、日向国の「牧」(官営の牧場)の数は6例確認できる。この日向一国あたり6例という数は、当時、全国でも5指に入るものである。このことも、古代日向国における牛馬の生産力の高さを推測させるものである藤原京木簡といい、古代の日向国は、現在と同様に畜産に適した土地であったのだろう。

次に古代日向の「海の幸」について述べてみたい。その「海の幸」とは鰹についてである。『延喜式』(平安中期の法典)には、日向国が朝廷に納めるべき産品として、綿・麻・鮫・斐紙・熟麻・胡麻子・茜等と並んで、鰹(「堅魚」)が記載されている。

古代日向国において鰹(「堅魚」)は、朝廷に献すべき重要な産品として位置づけられていたのである。

現代においても、宮崎県の鰹は「近海かつお一本釣り日本一」の漁獲量を誇り、重要な産品として位置づけられている。

四、おわりに～「稽古照今」～

現在の宮崎を代表する産品-牛・鰹・キャビア・焼酎-、これらについて「古」を「稽」へると、牛・

鰹は古代においても日向国の重要な産品として位置づけられる。キャビアや焼酎は、記紀の伝承等に象徴されるような、豊かな水資源に支えられたものであった。現在、記紀が編纂されてから約1300年たつが、これらのことは、約1300年という長い年月が経過しても、土地の特質というのは、そう変化するものではないということをお我々に教えてくれる。

現代は、技術革新や国際化が加速度的に進む時代である。そのような中であって古の物語は、昔から続くなにげないものの中に、案外重要なものが潜んでいるということをお教えてくれているのではないだろうか。

1

古(いにしえ)から学ぶ～稽古照今～
宮崎ロータリークラブ
令和5年5月9日(月)宮崎観光ホテル
宮崎県立看護大学 教授 大館 真晴

2

日向神話

古事記、日本書紀に記された
古代日向国を舞台とする物語。

3

記紀(きき)

古事記(こじき)・・・712年 日本書紀(にほんしよき)・・・720年

国立編纂館 日本書紀 国立国会図書館デジタルコレクション
http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1184132

高次書庫 日本書紀 国立国会図書館デジタルコレクション
http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2344347/DocContent1



4 「稽古照今」(けいこうしょうこん)
…古について学び考え、そのことを今に照らし
なすべきことを知る。

9 日本書紀・巻七(景行天皇)
(景行天皇は)まず、東守を訪れま
した。天皇は石瀬河の辺りに多く
の人が集まっているのを望まれ、



東守神社 (小林市より)

14 古代日向国の物産
【延喜式】より
絹糸・綿・麻布・鮫(あわび)・鱈魚(かつお)・
胡麻・茜



あけぼの会(静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合女性部)HPより
http://www.akibonokai.jp/products/2118

5 大館 晴勝 (おおだてはるかつ)
【国学者】 随従五位
鹿児島藩民事奉行
都城島津家老職
明道館学頭
桂園派歌人



藩校明道館で漢学を学び、その後、
国学を新納時賢に学ぶ。
代々の連歌師の家に生まれ、
天保13年(1842年)に京に上り、
千種有功や香川景樹(桂園派)から、
国学・和歌・連歌を学ぶ。

※都城島津邸 都城市HPより
『国学者伝記集成』大日本図書より

10 岩瀬川(宮崎県小林市)

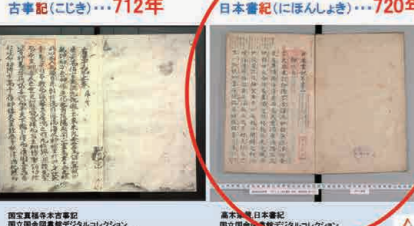


15 宮崎のうま味!
神かつお
新鮮なかつお



宮崎の新鮮なかつおを堪能できる大館HPより
http://www.freshkatsuo.com/

6 記紀(きき)
古事記(こじき)…712年
日本書紀(にほんしょき)…720年



11 日本書紀・巻七(景行天皇)
あの地に集まっているのは何者だ。
賊かとなすね、兄東守・弟東守を
派遣し視察させました。



筑前国夷守駅跡 (福岡県福岡市)

16 古代日向国の物産
【木簡より】
「〇日向久湯評人口〇漆部佐俣支治奉牛卅」
(藤原京左京七条一坊西南坪)



【解釈】
日向の久湯(児湯郡)の人…漆部佐俣支(ぬりへのさひき)
が、牛30頭を朝廷に献上した。

7 奈良時代 (写真は平城宮跡朱雀門)



※画像提供: 霧島文化資料館

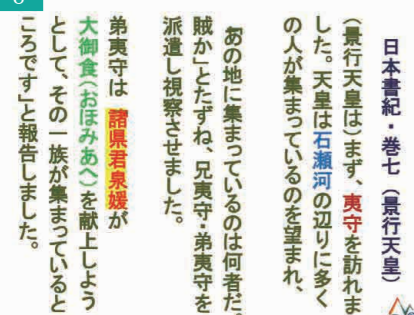
12 日本書紀・巻七(景行天皇)
弟東守は 諸県君泉媛が
大御食(おほみあへ)を献上しよう
として、その一族が集まっていると
ころですと報告しました。



17 都農牧神社 (つのまきじんじゃ)



8 日本書紀・巻七(景行天皇)
(景行天皇は)まず、東守を訪れま
した。天皇は石瀬河の辺りに多く
の人が集まっているのを望まれ、



弟東守は 諸県君泉媛が
大御食(おほみあへ)を献上しよう
として、その一族が集まっていると
ころですと報告しました。

13 大御食(おほみあへ)



神宮千調製所 神宮御料製所
御塩殿 ※画像は横山デザインセンター

18 古代の牧(まき)
又、多に牧を置きて馬を放つ。
『日本書紀』天智天皇七年(668)
諸國に牧地を定め、牛馬を放たしむ
『続日本紀』文武天皇四年(700)



※全国で27ある牧の中で、古代の日向国
(現在の宮崎県)には、3つの牧(まき)
がありました。



19 宮崎牛
奥土初内閣総理大臣賞
三大会連続受賞



※ 宮崎県庁 みやざきブランド推進本部HPより

23 諸県君牛諸井の娘 髪長媛
霧島ファクトリーガーデン(霧島酒造)



20 古代日本人も肉食
奈良・平城宮跡でトイレ遺構発見
2010年6月17日(日本経済新聞)



※ 提供: 奈良文化財研究所

24 早水神社(都城市: 髪長媛の神話伝承)



早水神社 (宮崎県都城市)

21 日本書紀・巻七(景行天皇)
弟東守は 諸県君泉媛が
大御食(おほみあへ)を献上しよう
として、その一族が集まっていると
ころですと報告しました。



25 出の山湧水(小林市)
環境省HPより: 日本の名水百選



22 諸県君泉媛 (もろかたのきみいづみひめ)
↓
諸県郡の豊かな水資源の象徴

26 「稽古照今」(けいこうしょうこん)
…古について学び考え、そのことを今に照らし
なすべきことを知る。

Rotary



本年度(2022~2023)宮崎ロータリークラブの目標

- ① 70周年記念事業の開催と成功
- ② 池ノ上ガバナーエレクトの活動支援
- ③ 会員数100名以上の堅持
- ④ 例会出席率90%以上
- ⑤ ローターリー財団寄付一人当たり100ドル以上
- ⑥ 米山奨学会寄付一人当たり10,000円以上

- <会 長> 川崎 建作
- <副 会 長> 小倉 和彦
- <幹 事> 河東 太浩
- <会報委員会> 赤石 裕一郎
- 例会日/毎週火曜日(12:30~13:30)
- 例会場/宮崎観光ホテル(☎27-1212)



日本の
ひなた
宮崎県